



CHARTERED IN  
NOVEMBER 21, 1955

— 主 題 —

国際会長  
アジア会長  
東日本区理事  
北海道部部长

札幌クラブ会長

「Values, Extension and Leadership」 Jacob Kristensen (デンマーク)  
「変化をもたらそう」s 板村 哲也 (武蔵野多摩)  
「変化を楽しもう」 中村 義春 (十勝)  
「心を高めよう」

ワイズダムの繋りを友情の輪に」

David Lua (シンガポール)

宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員  
会 長 宮崎 善昭  
書 記 柴田 伸俊  
会 計 秋葉 聡志  
直前会長 伏木 康

THE SERVICE CLUB OF YMCA  
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S  
THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

2021年3月

# 札幌クラブ

## BF (Brotherhood Fund) / ワイズメネット

### 今月の言葉

自分で薪を割れ。二重に温まる。  
ヘンリー・フォード 柴田伸俊選

## リモートワークとオンラインミーティングについて考えること 小野 健



昨年3月の最後の海外出張から帰国して以来、ずっと札幌の自宅でのリモートワークとオンラインミーティングによって仕事をこなしています。元々、国際開発コンサルタントという仕事は、海外での仕事から帰国すると、レポートを書いたり調べ物をするを主になりますので、テレワークはかなり一般的でした。私の会社は東京ですが、日本にいる時は札幌の自宅での仕事が基本となっていました。しかし、今では直接人とお会いしての打合せは全くなり、オンラインでの打合せとなり、私自身は外に出て人に会うこともめっきり減り、会社にも1年以上出社せず、自宅に半ば引きこもりの日々となりました。オンラインミーティングには良いところも多くあり以前はなかなか参加できなかった国際的な会議やフォーラム、ウェビナーなどに参加できるようになり、様々な人たちとのネットワークをこれまで以上に広げることができていると感じています。半面、海外、特に日本より時間の遅いアフリカとの打合せなどが多いので、どうしても夜遅くまで仕事をしなければならないこととなります。オンライン研修などが数週間続くとときには、日中は普通の仕事、夜は研修、となりますので、その期間は寝不足と疲労の日々が続きます。人とのコミュニケーションが私の仕事では最も大事なのですが、微妙なニュアンスや雰囲気などを的確につかむことはやはり難しいです。

また、リモートで技術指導や細かな説明などを行うことの難しさも改めて痛感しているところです。現在、COVID-19対策の一環として、マダガスカルに日本の医療廃棄物用の焼却炉を導入する事業に参画しているのですが、マダガスカルへの入国が厳しく制限されているため、日本から技術者の方を派遣して焼却炉の設置工事や技術指導を行うことができません。このため、ZoomなどのオンラインツールやWhatsAppという向こうの人が多く利用しているSNSツールをフルに活用して工事の進捗確認や技術アドバイスなどのサポートを毎夜行っています。細かい説明や確認がとても大変で、時には先方の業者さんのスマホビデオを長時間繋いで確認することもあります。日本と違い向こうはスマホのパケ放題のようなサービスはなく通信費の負担が非常に大きくなり、通信環境の良くない中での仕事にも関わらずとても一生懸命に取り組んでもらっており、心の中で本当に申し訳ないと謝りながら奮闘中です。これで無事に焼却炉の火が入ったら、本当に「グッドジョブ!」、拍手喝さいです。COVID-19がある程度収束して海外での仕事が再開されても、オンラインならではの良さも改めて分かってきました。これまでのやり方と様々なテクノロジーを組み合わせる工夫することで、より良い仕事ができ、よりイノベティブな取り組みに繋がれることを期待しています。

(写真右: オンラインでここまで出来ました!)



2001年2月例会  
出席報告

在籍会員 8名 例会出席 7名 (内1名はリモート出席)  
ゲスト 1名【卓話者】 ビジター 0名 出席者合計 8名

メネット 0名  
出席率 88%

## 札幌ワイズメンズクラブ 2021年3月例会

日時：2021年3月16日（水） 18:30～19:30

会場：北海道YMCA101 教室

札幌市中央区南11条西11丁目

Tel. 011-561-5217

会費：1,000円

### プログラム

- |                 |         |       |
|-----------------|---------|-------|
|                 | 司会      | 柴田 伸俊 |
| ① 開会点鐘          | 札幌クラブ会長 | 宮崎 善昭 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 |         | 全員    |
| ③ 聖句            |         | 柴田 伸俊 |
| ④ 会長あいさつ        | 会長      | 宮崎 善昭 |
| ⑤ 誕生日           |         | なし    |
| 結婚記念日           |         | なし    |
| ⑦ 卓話            |         |       |

## 「札幌ランチ会館建設構想」

北海道YMCA 総主事

秋葉 聡志 様

- |           |           |      |
|-----------|-----------|------|
| ⑧ 諸報告     |           |      |
| ⑨ YMCA 報告 | YMCA 担当主事 | 北川佳治 |
| ⑨ 今月の歌    |           |      |

## 「椰子の実」

(宮崎善昭選)



- |        |    |       |
|--------|----|-------|
| ⑩ 閉会点鐘 | 会長 | 宮崎 善昭 |
|--------|----|-------|

### プリテン3月号執筆予定者

- |         |       |         |
|---------|-------|---------|
| 巻頭言：    | 小野 健  |         |
| 今月のことば： | 柴田 伸俊 | 原稿提出期限： |
| 例会報告：   | 宮崎 善昭 | 3月8日（月） |
| 事務会報告：  | 秋葉 聡  | 発行予定：   |
| 今月の歌：   | 宮崎 善昭 | 3月9日（火） |
| 2月卓話要旨： | 清水 里美 |         |
| YMCA報告： | 北川 佳治 |         |

## 札幌ワイズメンズクラブ2月例会

日時：2021年2月16日（火） 18:30～19:30

場所：北海道YMCA101号室

出席者：秋葉、北川、伏木、中田、柴田、宮崎、  
(internet) 小野、(卓話者) 清水

18:30より2月例会が開始された。食事は各自持ち帰りであった。卓話は、札幌YMCA発達障害児プログラム担当の清水里美さんから「コロナ禍でつなげる発達支援」という題で、現場で担当しているスタッフとしてのプログラムの工夫をしている。また、YMCAの基本的スタンスとしてのいかにプログラム参加メンバーに愛情を注いでいくかについて最近考えるところがある点などを話した。愛の感情についてはキリスト教的には「憐み」「慈しみ」の心であるとするなら、時々自分にはシンクロしにくい部分も出てきて来ているのではないかと思うと最近の心境について語った。この後、参加者よりの質疑応答があった。(p.3に要旨記載) 第21回YMCA大会はリモートで行われるので参加してほしい旨、秋葉総主事より要請があった。(宮崎記)



後列：左から、北川、柴田、伏木、秋葉、小野（リモート）  
前列：左から、中田、清水、宮崎

## 札幌ワイズメンズクラブ2月事務会

2月23日（火）19:00～20:00 (meet)

出席者：宮崎（長）・秋葉・小野・柴田・中田・伏木  
1. 3月例会・事務会について

【3月例会】 日時：3月16日（火）18:30～19:30

卓話：秋葉聡志総主事「札幌ランチ会館構想」

会費：1,000円

※食事なし。持ち帰り弁当用意。

【事務会】 日時：3月23日（火）19:00～20:00（オンライン）

3. 3・4月の予定

①3月14日（日）専門学校卒業式

ワイズメンズクラブ賞該当者なし

②4月9日（金）専門学校入学式

③4月11日（日）創立記念日集会（オンライン）

4. その他 札幌北ワイズ40周年記念誌発行予定。  
原稿依頼あり。

## 2月例会卓話

## 「コロナ禍でつなげる発達支援」

児童発達支援・放課後等デイサービス YMC Aさんかく 清水 里美



札幌YMC Aでは、LDという言葉が「レーザーディスク？」と言われる時代から、発達障がいのある子どもたちのプログラムをおこなって

きました。1995年に学習障がいのある子どもを対象としたプログラムを始め、2012年には、児童発達支援・放課後等デイサービスYMC Aさんかくを開所しました。時代の流れと共に、ひと昔はボランティアの力を資源におこなってきたプログラムも、公的なものへと変わっていきました。また、全道から通わざるを得ないほどに地域に支援がなかった時代から、地域に支援がある時代へと変わってきました。環境は色々と変化をしていますが、子どもたちそして青年たちのために、成長する場、失敗してもいい場、人とのつながりをつくっていく場、生きた経験をする場を作っていくということは、変わらず続けてきています。



コロナ前、昨年度保護者プログラムの雪像です。

2020年2月28日～新型コロナウイルス感染拡大防止のため札幌市内の学校が一斉休校になり、さんかくも休業になりました。その後、3月に再開をし、また4月に緊急事態宣言が発令され、再び休業を余儀なくされましたが、6月から、再開をすることができました。コロナ対策をとりながら、支援、プログラムを続けています。

伸び伸び過ごせる場が減り、保護者や子どもたちにとって、なかなか大変な日々が続いています。また、今年度入学の一年生たちは、新しい学校生活に慣れる間もないまま、変化の多い日々を余儀なくされ、ストレスを抱えながらの一年間でした。また、ウイルスの见えない不安があり、大人も神経を使う毎日です。少しでも安心が持てるよう、笑顔が生まれるよう、日々の活動をおこなっております。



青年たちと一緒にスノーキャンドルを作りました。

ズメンズクラブ例会にお邪魔した時に、コロナ禍でも3密を避けて出来るプログラムとして、外での雪を使ったプログラムの話題が出ました。早速2月の青年活動では、スノーキャンドルを作りました。短い時間でしたが、青年たちは心に灯がともったようで、喜んでいました。これからも、先行きが見えない日々で、ともすれば大人も心が参ってしまいそうになりますが、灯をともしあいながら、進んでいきたいとおもっています。有難うございました。



卓話に聞き入るワイズメン：

左写真：  
左から、清水、北川、  
宮崎  
右写真：  
左から、  
柴田、秋葉



## YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

### ① 卒園式・卒業式(全日制)

3月14日(日)にYMCA 幼稚舎卒園式および札幌 YMCA 英語・コミュニケーション専門学校卒業式が札幌 YMCA 会館にて行われます。コロナ禍で制限が多かった1年でしたが、それでも同じ時を共にした仲間、先生はかけがえのない宝になると思います。YMCA に在籍した数年間の経験が、YMCA を羽ばたいた後の皆さんの飛躍に繋がることをスタッフ一同お祈りしています。



### ② 年間キッズプログラム終了

スイミング、体操、英語、造形絵画など、年間を通じて展開している年間キッズプログラムが3月20日(土)をもって2021年度の活動を終了致します。

コロナ禍で休業期間があったり、例年通りの方法で活動ご理解ができなかったりと、子ども達には不憫な思いをさせた部分がありますが、それでもYMCAとしての理念や願い、社会的責任は変わらず発信し続けてきました。会員・保護者の皆様には、そのような中でも、YMCAの諸活動にご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

2021年度も、新型コロナウイルスへの対応は続くと思われませんが、子ども達の大切な機会が失われないよう、YMCAスタッフ一同、力を合わせて活動を続けてまいります。



### 第24回 東日本区大会リモートで開催

6月24~25日、甲府21ワイズメンズクラブのホストで甲府湯村温泉郷で開催される予定の第24回東日本区大会は新型コロナウイルス感染防止のため、対面での実施ではなく、リモート形式で実施することに、常任役員会で決定いたしました。

これに伴い、区大会に先立つ第4回役員会、年次代議員会もリモートで開催致します。夫々の具体的な開催要領は改めて発表されます。

③ 2021年度YMCAプログラムの詳細は右のQRコードをご



### ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、  
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、  
社会には奉仕第一を旨としよう。